



**実験実施機関**： 地方独立行政法人大阪産業技術研究所

**テーマ**： 床材による粉じんの舞い上がり抑制効果に関する研究(受託研究制度により実施)

**目的**： 床材をタッピングした時の発じん量を測定することにより、床材による粉じん(粉体)の飛散、舞い上がりの抑制効果を実験的に検討する。

#### 実験方法

**試料**： タイルカーペット(ナイロン糸/ループパイル)、フローリング材の2種類

**粉体**： JIS Z 8901「試験用粉体」15種(混合粉体) ※模擬ハウスタストとして使用

**装置**： クリーンブース、パーティクルカウンター

**測定環境**： 温度 20°C、湿度65% RH

**手順**：

1. 試料に試験用粉体 1.0g を均一散布し、7kg のローラーにより試料に粉体を固着させた。
2. タッピングマシン(軽量床衝撃音発生器)を用いて粉体を飛散、舞い上がらせた。
3. 5分後、タッピングマシンを停止し、床から 50cm、140cm の位置の飛散粉体量をパーティクルカウンター(3分間吸引)で測定した。

**結果**： 床上140cmでの粉体舞い上がり量は、フローリングが約5万2000個/m<sup>3</sup>に対し、カーペットは約5000個/m<sup>3</sup>、床上50cmではフローリングが約4万個/m<sup>3</sup>に対しカーペットは約3000個/m<sup>3</sup>であった。カーペットでの舞い上がり量は、フローリングの約10分の1であることが分かった。

日本カーペット工業組合は、カーペット、織じゅうたん、特殊毛織物等の生産者団体で、1895年(明治28年)に設立された大阪府緞通同業組合を淵源としています。カーペット産業の発展と需要振興を目指し、様々な事業や調査・研究に取り組んでいます。

現在、正会員31社・賛助会員63社。理事長は吉川一三(住江織物(株)会長兼社長)、副理事長は永嶋元博(東リ(株)社長)、池崎博之(日本絨氈(株)社長)、山本恭弘(山本産業(株)社長)、土井俊雄(株オーノ会長)。